



7日(水)は立冬でしたが、今週は比較的暖かい日が続いていて、ほっとしています。先週末、保育園部の子どもたちの中に数名、今週に入って幼稚園部で数名、嘔吐を伴う胃腸炎で体調を崩した子どもがいて、園内での感染拡大が心配されましたが、大事に至らずほっとしています。これから、インフルエンザをはじめとする感染症が流行しやすい季節になります。手洗いやうがい、十分な睡眠をとるなど、子どもたちはもちろん、保護者の皆さんも体調管理には十分お気を付けください。

○ 年長組の子どもたちが大淀川学習館に行ってきました。

2日(金)の午前中、年長組の子どもたちが園外保育でスクールバスに乗って「大淀川学習館」に行ってきました。学習館では、水槽にいるいろいろな珍しい魚を見たり、手を入れると魚が集まってくる水槽に手を入れてみたりして、楽しく過ごしました。

2学期は園外での活動が多く、子どもたちは多様な体験活動を通して多くのことを学んだり、感じたりしています。



○ 年中組の子どもたちがガス展に参加しました。

3日(土)の午前中、年中組の子どもたちが園のすぐ近くにある中央公園で開催されたガス展に参加しました。特設ステージ上がって「秋の歌メドレー」を歌い、「世界が一つになるまで」の手話と「世界中の子どもたちが」の合奏を披露してくれました。年中組の子どもたちにとって園外でのイベントでの活動は初めてでしたが、みんな、これまでの練習の成果を存分に出してくれました。保護者の皆さんも送迎等ありがとうございました。



○ 年長組の子どもたちがクリスマスツリー点灯式に参加しました。

同じく3日(土)の午後、年長組の子どもたちがイオンモール宮崎で開催されたクリスマスツリー点灯式に参加しました。ステージが上がって、「チキチキバンバン」を合奏し、「わたしとことりとすずと」と「We wish a Merry Christmas」の2曲を合唱し、最後に「ハッピー ジャムジャム」のダンスを披露しました。ちょっとステージが狭かったようですが、元気いっぱい発表してくれました。

保護者の皆さん、送迎等ありがとうございました。



○ 教育実習前指導(第2班)がありました。

今週月曜日から木曜日までの4日間、宮崎学園短期大学保育科1年生55名が第2班として教育実習前指導で来ました。学生は全員4日間とも出席し、保育参観や研究会、演習、子どもたちとの触れ合いなど充実した日々を過ごしてくれたと思います。今回は、保育園部0歳児から幼稚園部年長組まで6つのクラ

スで「音で遊ぼう」の保育活動を公開しました（第1班は2歳児、年少組、年中組、第2班は0歳児、1歳児、年少組、年長組）。学生は同じテーマの活動でも、年齢で子どもたちの反応が違ったり、担任の関わり方の工夫などについて多くのことを学びました。来年2月には県内の保育園での保育実習、5月からは幼稚園や認定こども園での幼稚園実習が控えています。本園で学んだり、体験したりしたことをぜひこれらの実習で活かしてほしいと思います。



○ また、年長組の子どもたちがクリスマスツリー一点灯式に参加します。

9日(金)の夕方、年長組の子どもたちが宮崎山形屋で行われるクリスマスツリー一点灯式に参加します。先月から園外でのいろいろなイベントに参加することが多い子どもたちですが、年長組の子どもたちにとっては最後になります。子どもたちは朝の時間や給食後の時間などに発表の練習に自主的に取り組んでおり、その行動に成長を感じます。練習の成果を存分に発揮してくれると期待しています。

○ 本のご紹介

先日、ちょっとしたきっかけで、ある本に出会いました。タイトルに衝撃を受けて、つい買ってしまいました。中を読んで、納得することが多くありました。これは、保護者の皆さんに読んでいただいても子育てを含めて、いろいろと参考になることが多いのではないかと思いますので、紹介します。

「仕事と人生の原理原則 ビジネスで大切なことはすべて小学校までに学んでいます」

藤山邦子 著 (ワニブックス)

第1章のタイトルを見て驚きました。「人として、社会人として ～そこに”礼節”はあるか～」

「礼節」は宮崎学園の建学の精神にもある言葉です。人として生きる上での基本は「礼儀」、そして具体的な行動が「あいさつ」とありました。「あいさつ」とは心の中にある気持ちが身振りや言葉によって表に現れることです。筆者は本来、心(感謝:意)と言葉(ありがとう:口)と行動(お辞儀:身)が一致していることが人として自然な状態だと言っています。この状態を難しい言葉ですが「身口意一致(しんくい いっち)」というそうです。ビジネスの世界においても礼儀が第一であり、人として毎日生きる上でも大切にしなければならないと言っています。

「礼儀」は、それこそ、本園でも教育目標のひとつに「ありがとう」がありますが、小学校でも道徳の時間をはじめ、教育活動の中で繰り返し指導されています。つまり、タイトルにあるように、人として生きる上で大切な基本的なことは、小学校までに学んでいるのです。ただ、成長していく中で、あるいは社会人として仕事をしていく中で、この3つの要素(身:行動、口:言葉、意:心)がばらばらになってしまっていることがあるということです。例えば「おはようございます」をするにしても、頭を下げた言葉には出して言っているけれども、心がこもっていない。こんなあいさつをされたことはありませんか？すぐ分かりますよね。「身口意一致」が社会で生きていく上で大切、ということは分かりますが、これを実践していくには、本人の自覚、意識が重要です。

本書には、これ以外にも「なるほど、確かにそうだ」という内容が多く書かれていて、読みながら自分の日頃の様子を振り返ると、まだまだ足りないことがあるなあ、と反省させられました。

園では「礼節と勤労」を基本として、子どもたちの教育保育にあたっています。毎日の園生活の中で繰り返し指導や支援を行っていくことで、子どもたちは人として生きる上で大切なことを少しずつ体得してくれると考えています。

これからも、子どもたちの健やかな成長のために、努力していきますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。